

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp / agree-sys@excite.co.jp

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：10：00～17：00月曜休
 問い合わせ：0465-81-5339



今夏、国内35年ぶり大回顧展 メアリー・カサット展 作家の江國香織さんが応援



今夏（6/25～9/11）
 横浜美術館で開催される
 『メアリー・カサット展』
 の発表が3月9日（水）横

次号は
3月24日発行

浜美術館で行われた。
 同時に人気作家の江國香
 織さんのトークイベントも
 あり、独自の画風で新しい
 扉を開いたアメリカ人の印
 象派女性画家、メアリー・
 カサット（1844～19
 36）の国内35年ぶりの大
 回顧展を盛り上げていた。
 江國香織さんは著書でも
 メアリー・カサットを取り
 上げるほどのファン。



文化遺産復興 を支援

古くから『文明の十字路口』

として栄え、シルクロード
 の拠点として発展したアフ
 ガニスタン。その北部に点
 在する古代遺跡から発掘さ

東京国立博物館

黄金のアフガニスタン

守りぬかれたシルクロードの秘宝

れた文化財は、アフガニス
 タン国立博物館に所蔵され
 ていたが、ソ連侵攻やそれ
 に続く内戦により同館は大
 きな被害を受け、数多くの
 文化遺産も永遠に失われた
 とみられていた。
 しかし、貴重な文化財は、
 同館の勇敢な職員たちによ
 り、秘かに地下の金庫に移
 され、その後14年もの間、
 度重なる追及にも屈するこ
 となく守り続けられていた
 のだ。
 本展は、この秘宝の再発
 見を契機に、アフガニスタ
 ンの文化遺産復興を支援す
 るために企画された国際巡
 回展。すでにメトロポリタ
 ン美術館、大英博物館をは
 じめ、世界10か国を巡回し
 ており、170万人以上が

来場している。

日本展では秘宝231件
 に加え、平山郁夫氏らの呼
 びかけにより日本で保護・
 保管され、この機にアフガ
 ニスタンに返還されること
 となった「アフガニスタン
 流出文化財」の中からも15
 件が特別出品される。

◆4月12日（火）
 6月19日（日）

東京国立博物館 表慶館
 （東京都台東区上野公園13
 ー9） TEL 03-57
 77-8600（ハローダ
 イヤル） 一般1400円
 大学生1000円 高校
 生600円 中学生以下無
 料 月曜日休館（ただし、
 5/2は開館）

熱海湾を一望で き眺望ナンバ ー1の美術館

■MOA美術館（静
 岡県熱海市桃山町26
 2） 電話0557
 （84）2511一

般1600、高校生8
 00円、中学生以下無
 料、65歳以上1200
 円 木曜日休（祝日は開
 館）

JR熱海駅下車／バ
 ス4番のりばMOA美
 術館行8分

版画でみる20世 紀展 ピカソか らウオーホルマ で 開催中！

■諸橋近代美術館
 （福島県耶麻郡北塩原
 村大字松原字剣ヶ峰1
 093番23） 一般・
 大学生950円、高校
 生500円、小・中学
 生200円 生*毎週土曜
 日、小・中学生は無料
 電話0241（37）
 1088

ハロー、クルック

～共感する記憶～

諸橋近代美術館

HELLO
CROOK



パマー・ラ・ジュン・クルック (1945—) は英国の現代美術家。子育て中の余暇に絵を描き始め、以来、現在に至るまで精力的に制作を続けている。

彼女の作品の多くは、自身の体験や記憶に基づいた光景が描かれている。半開きになった扉の前に立つ不穏な影、一心不乱に新聞を読みふける日本人、都市部の群集など、私たちの身の回りに溢れるモチーフを組み合わせて不思議な光景を作り出している。

ありふれた人々の生活の中に、クルックはどのようなメッセージを込めたのか。クルックは無休

メモ

◆ 4月20日
(水) ～ 9月2日

日(金)

諸橋近代美術館 (福島県耶麻郡北塩原村大字松原剣ヶ峰1093番23)

TEL 0241-372-1088 一般950円 高校・大学生500円 小学生以下無料 展覧会会期中は無休

メモ

◆ 2月11日
(木) ～ 4月10日

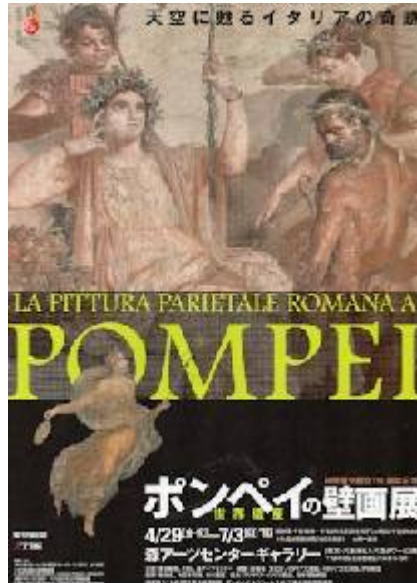
日(日)

DIC川村記念美術館 (千葉県佐倉市坂戸631)

TEL 0120-498130 一般1000円 学生・65歳以上800円 小中学生・高校生600円 月曜日休館

庭園ゾーン
書院ゾーン
体験ゾーン
展示ゾーン

■北九州市立小倉城庭園 (北九州市小倉北区城内1-2) 電話093(582)2747 会期中無休



ポンペイの壁画展

森アーツセンターギャラリー

日伊国交樹立150周年記念

紀元後79年、火山の噴火という悲劇的な終焉により、時代を瞬時に閉じ込めたポンペイの町。18世紀に再発見されたポンペイの遺跡は、古代ローマの人々の豊かな暮らしを今に伝え、世界中を魅了し続けている。

本展は、ポンペイの出土品の中でも最も人気の高い壁画に焦点を絞り、壁画の役割と、その絵画的な価値を紹介するもの。本展では、壁画コレクションの双璧である、ナポリ国立考古学博物館、ポンペイ監督局の貴重な作品約80点を厳選し、「第1章 建築と風景」、「第2章 日常の生活」、「第3章 神話」、「第4章 神々と信仰」と描かれたテーマごとに紹介し、古代ローマの人々が好んだモチーフや構図、その制作技法に迫る。

ポンペイ壁画のまさに決定版ともいえる展覧会となりそう。

メモ

◆ 4月29日
(金・祝) ～ 7月3日(日)

森アーツセンターギャラリー (東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階) TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 高校・大学生1300円 小・中学生600円 会期中無休

美術は語られる 評論家・中原佑介の眼

DIC川村記念美術館

作家の評価をかたち作る要因となる。作り手が制作を重ね、自他ともに認める地歩を築く過程に、評論家の仕事もあると言えるのではないだろうか。

当館コレクションには、中原と交友をもつた作家、評された作家たちの作品が数多く含まれている。本展では当館所蔵の現代美術作品を中原の視点からとらえ直し、当時の出版物等の一部を紹介するとともに、彼の元に残された小品のコレクションから約40点を選んで、共に展覧できる。

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市城内町1-17) 電話03(5777)8600 ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本など多岐にわたる

■静岡市立芹沢鉦介美術館 (静岡市駿河区登呂5-10-5) 電話054(282)5522 一般410円 高大生250円 月曜日休館

名古屋市
美術館

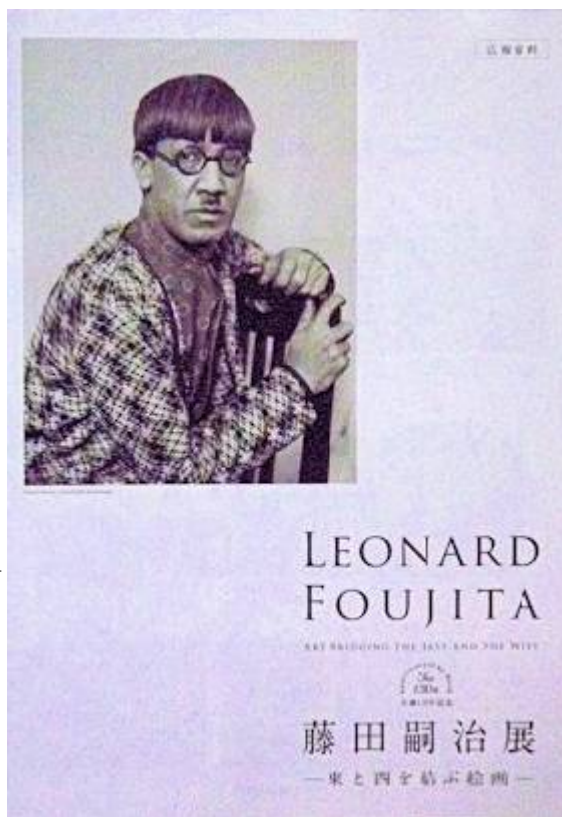
藤田嗣治展

—東と西を結ぶ絵画—

パリ画壇の
寵児!

日本とフランスを巡る文化の交流は、19世紀の「ジャポニスム」以来、さまざまな豊かな成果を生み出したが、その象徴的な存在が藤田嗣治（1886—1968）の芸術だった。

27歳で初めてフランスに渡って以来、81年の生涯のほぼ半分を異国で送った藤田芸術は、なさに東と西の文化の上に誕生したものであった。

LEONARD
FOUJITA

藤田嗣治展

—東と西を結ぶ絵画—

陶器を思わせる滑らかなで鈍い光沢を放つ「素晴らしき白い下地」の上に引かれた、均一にして流麗な線によって浮かび上がる美しい裸婦の姿、ヴォリュームと線、写実と装飾という対立する二つの要素を、ヨーロッパの伝統的な主題の上で見事に融合してみせたその芸術は、藤田を一躍パリ画壇の寵児に押し上げた。

本展は、東と西の間に花開いた藤田嗣治の芸術の全貌を6章に分かれて紹介するもの。国内外の主要なコ

レクションをはじめ、近年フランス市に寄贈された未公開作品多数を含む、約150点の代表作による藤田芸術真髓に迫る。

- 1章 模索の時代
- 2章 パリ画壇の寵児
- 3章 さまよう画家
- 4章 戦争と国家
- 5章 フランスとの再会
- 6章 平和への祈り

メモ

◆ 4月29日
(金・祝) ~ 7月

3日(日)

名古屋美術館 (愛知県名古屋市中区栄2-17-25)

TEL 052-212-0001

一般1400円

高大生900円

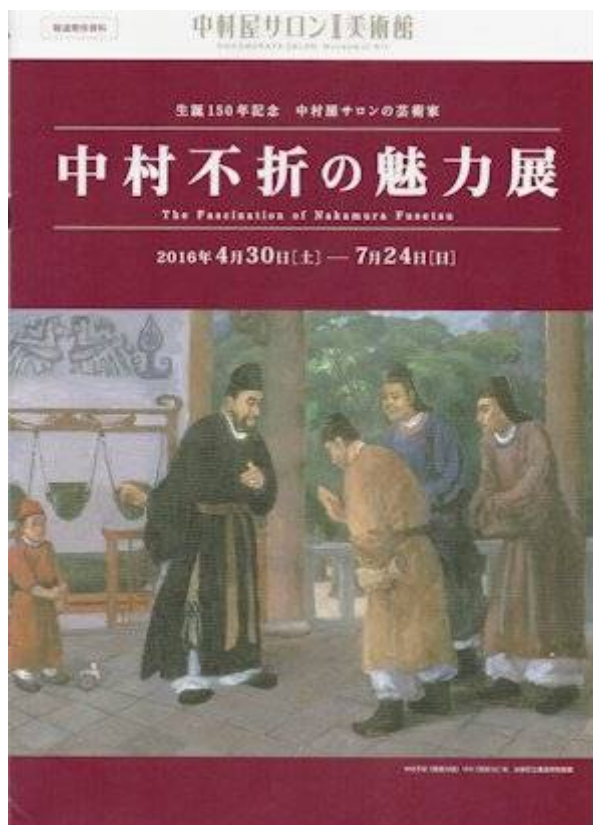
中学生以下無料

月曜日休館 (5/2は除く)

生誕150年記念 中村屋サロンの芸術家

中村不折の魅力展

中村屋サロン美術館



中村不折の魅力展

The Fascination of Nakamura Fuchika

2016年4月30日(土) — 7月24日(日)

明治、大正、昭和期に活躍し、中村屋とゆかりのある洋画家、書家である中村不折（なかむら ふせつ 1866—1943）の生誕150年を記念し、彼の初期からパリ留学時代、晩年までの作品を、油彩画、素描、日本画、書、本の装丁など、約50点で紹介する。激動の時代を生きた芸術家・中村不折の多彩な魅力を堪能できる。

学校の夏期講習で河野次郎に洋画の初歩を学んで啓発され、1888年に画塾「不折舎」に入門して、小山正太郎に師事した。

1890年明治美術会の第2回展覧会に水彩画を出品して、美術界にデビューした。

メモ

◆ 4月30日
(土) ~ 7月24日

日(日)

中村屋サロン美術館 (東京都新宿区新宿3-26-13 新宿中村屋ビル3階)

TEL 03-5362-7508

一般300円 高校生以下無料

火曜日休館 (ただし、5/3は開館)

特集

日本最初期から現代までの万年筆が勢ぞろい！
世界に誇る 日本の”技”と”美”の饗宴

万年筆の生活誌

—筆記の近代—



昭和時代を生き抜いてき
れ注目されている。

葉県・佐倉市の国立歴史民俗博物館では、『万年筆の生活誌』の企画展が開催さ

を書く仕組みがない。

こんなデジタル時代に千

活の一部になっていて、字

ではなく、かなりの年配者

たちが”スマホ”でメール

が目立っている。学生たち

にいたるとスマホが日常生

活の一部になっていて、字

を書く仕組みがない。

こんなデジタル時代に千

活の一部になっていて、字

ではなく、かなりの年配者

たちが”スマホ”でメール

が目立っている。学生たち

にいたるとスマホが日常生

活の一部になっていて、字

を書く仕組みがない。

味わい深さ：
万年筆

全国民”デジタル時代”といわれ、手書き文章を書くことがまったく姿を消したなか、手書きの原点になる『万年筆』の企画展が、国立歴史民俗博物館で開催されている。

公開！②4Kディスプレイ

本展では、①日本の万年筆技術の真骨頂！蔭絵万年筆の装飾面を展開図にして

でもあったからだ。

人々の仲間入り”を示すもの

から買ってもらえれば”大

”とても味わい深さ”を漂

わせてくれた。万年筆を親

もあり、ボールペンと違い、

『万年筆』は手紙を書く

ときには、憧れのひとつで

もあって、ボールペンと違い、

”とても味わい深さ”を漂

わせてくれた。万年筆を親

もあり、ボールペンと違い、

『万年筆』は手紙を書く

ときには、憧れのひとつで

もあって、ボールペンと違い、

”とても味わい深さ”を漂

わせてくれた。万年筆を親

もあり、ボールペンと違い、

『万年筆』は手紙を書く

ときには、憧れのひとつで

もあって、ボールペンと違い、

”とても味わい深さ”を漂

わせてくれた。万年筆を親



万年筆の構造



イで蔭絵万年筆を自在に回転し、気に入った角度から干渉ができる！③世界有数の万年筆技術をもつ日本の職人による技を、映像で公開！④明治の作家たちが使用したのと同じ古典的な万年筆も登場！

魅力あふれるさまざまな万年筆の数々を、その文化的背景とともに考察する。

「なつかしくて、新しい…」万年筆の展覧会に足を運ん

でみると、懐かしき感動を呼び起こすかも知れませ

ん。

◆ 3月8日

(火) 5月8日

メモ

日(日)

国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B(千葉県佐倉市城内町117)

TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

一般830円 高校生・大学生450円 中学生以下無料 月曜日(ただし月曜日が休日の場合は翌日休館)

館)

館)

館)

館)

館)

館)



2016年3月31日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

- 出光美術館 「勝川春章と肉筆美人画」 3月27日まで TEL03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館
- パナソニック汐留ミュージアム 「イングリッシュ・ガーデン英国に集う花々」 3月21日まで TEL03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 水曜日休館
- ワタリウム美術館 「リナ・ボ・バルディ展」 3月27日まで TEL03-3402-3001 一般1000円 月曜日休館
- 太田記念美術館 「勝川春章 北斎誕生の系譜」 3月27日まで TEL03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館
- 渋谷区立松濤美術館 「小さきものは皆うつくし」 3月21日まで TEL03-3465-9421 無料 月曜日、3/15、4休館
- 根津美術館 「ほとけの教え、とこしえに。」 3月31日まで TEL03-3400-2536 一般1000円 月曜日休館
- 弥生美術館 「上村一夫×美女解体新書展」 3月27日まで TEL03-3821-0012 一般900円 月曜日休館
- 森アーツセンターギャラリー 「フェルメールとレンブラント」 3月31日まで TEL03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 無休館
- 目黒区美術館 「気仙沼と東日本大震災の記憶」 3月21日まで TEL03-3714-1201 無料 月曜日休館
- 板橋区美術館 「描かれた大正モダン・キッズ」 3月27日まで TEL03-3977-1000 一般650円 月曜日休館
- 静嘉堂文庫美術館 「茶の湯の美、煎茶の美」 3月21日まで TEL03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館
- 五島美術館 「中国の陶芸展」 3月27日まで TEL03-5777-8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

東京郊外

- 三鷹市美術ギャラリー 「米谷清和展 渋谷、新宿、三鷹」 3月21日まで TEL0422-7921-0033 一般600円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館
- 東京富士美術館 「顔・力」 3月21日まで TEL042-691-4511 一般800円 月曜日休館

関東南部

- 神奈川県立歴史博物館 「石展」 3月27日まで TEL045-201-0926 一般900円 月曜日休館
- 県立神奈川近代文学館 「文人学者 富士川英郎展」 3月21日まで TEL045-622-6666 一般900円 月曜日休館
- 神奈川県立近代美術館 「石展」 3月27日まで TEL045-201-0926 一般900円 月曜日休館
- 横浜市歴史博物館 「称名寺貝塚 土器とイロカと縄文人」 3月21日まで TEL045-912-7777 一般300円 月、火曜日休館
- カスヤ「の森美術館」 「上田葉介×橋本倫」 3月27日まで TEL046-852-3030 一般600円 月、火曜日休館
- サトエ記念21世紀美術館 「生誕130年記念 斎藤与里展」 3月13日まで TEL0480-663806 一般900円 月曜日休館

関東北部

- 佐倉市立美術館 「魔法の美術館」 3月27日まで TEL043-4851-7851 一般800円 月曜日休館
- 埼玉県立近代美術館 「原田直次郎展」 3月27日まで TEL048-240111 一般1100円 月曜日休館
- 川越市立美術館 「この絵、私が持っていました。」 3月21日まで TEL049-228-8080 一般500円 月曜日休館
- 高崎市タワー美術館 「伊東深水展」 3月27日まで TEL027-330-3773 一般600円 月曜日休館
- 水戸市立博物館 「子どもは風の子 昭和の子」 3月20日まで TEL029-226-6521 一般200円 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

■ 箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

■ 江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽します

■ 箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

MATSUMOTO Shigeko

Exhibition at Art Gallery LOS PINOS Mar.12-21 2016



▲コーディネート例 (バッグとお揃いで仕立てた例) ▲袖バッグ各種・生地アップ

Art Gallery LOS PINOS & Cafe

松本重子 「つむぎの美しさ」個展

紬リフォームの醍醐味！

3月12日 (土) ~ 21日 (祝)

前田舜敏油彩画小品展

銀座 ミウラ・アーツ



「TIRRENIA」1206年 油彩画10F

抽象化された幾何学的形態と画面構成は、20世紀の古典的造形思考を頑固なまでに踏襲しているが、その独自の造形と色彩の色彩の追求は常に新鮮であり続け、強い信念とともに清新をかんじさせるものがある。

春陽会絵画会
員 三浦明範

1932 宮崎県に生まれる。

1955 東京芸術大学美術学部修了

1958 春陽会初出品

1959 春陽会賞受賞

安井賞出品

1963 春陽会会員

1964 イタリア留学

1971~1975 国際形象展出品

1974 東京セントラルサロン個展

1977~ 制作のため

イタリア滞在

1993 帰国以降、多数、招待出品

◆ 4月15日 (金) ~ 4月23日 (土) 12:00 ~ 19:00 (最終日も19:00まで開廊)

ミウラ・アーツ (東京都中央区銀座8-12-6 小野商ビル401) TEL & FAX 03-3541-1327 日曜日休廊

編集後記

◆紙面の掲載記事都合で編集後記がなかなか書く事態に至らず、ご無沙汰しております。編集部としては記事が多くなることは歓迎したいです。そんな掲載記事が全国の美術館・博物館・ギャラリー・イベント等に広がり、連日編集部がメール宛にたくさん送られてきて、うれしい悲鳴となっています。どんな小さな展示会やイベントも遠慮せずにお知らせいただければ、紙面に反映させていただきます。お待ちしております。

◆そんなことたで地方への取材回数も増え、編集部ではてんやわんやになっていることは間違いないありません。それに伴い各地の方々ともコミュニケーションが図られ、偏りすぎるくらいにある編集部の意図も解れ、まさに自然の体制を保たれるいい傾向に進んでいます。

◆いよいよ日ごとに暖かさが増してくれば、外出もしたくなりますが、ぜひ、多くの美術館・博物館・ギャラリーに足を運び、多くの芸術文化に触れて頂きたいものです。

〓 Y・O 〓

◆ 2月22日 (月) ~ 3月7日 (月) アートに囲まれたコーヒーリゾート Art Gallery LOS PINOS & Cafe (神奈川県藤沢市南藤沢7-6-102) TEL 050-800-5079 営業時間 12:00 ~ 18:00 水曜日休廊

「蘇る和の美しさ」 紬生地をバッグや和装小物に作り替えて展示販売。
* 参考展示 コートとバッグを同じ素材で組み合わせたトータルコーディネート例。

本紙掲載展示会にお出かけの際には、主催会場に再度ご確認くださいよう、お願い申し上げます。

(編集部)